

水口医療センター内科の診療が充実

◎新任医師の就任により10月から、月・水・木曜日の午前に内科診療枠が増えました。

診療科・曜日	月	火	水	木	金
内科	○	○	○		○
	★		★	★	
循環器内科	○※	○	-	○※	-
消化器内科	-	-	-	○	-
糖尿病内科	-	-	○※	-	○※
小児科	○	○	○	○	○
外科	-	○	-	-	○
整形外科	○	○	○	○	○

★印-新設 ※予約制

診療科	受付時間	診療時間	休診日
内科・循環器内科・消化器内科・ 糖尿病内科・小児科・外科・ 整形外科・リハビリテーション科	午前診 8:00～正午 ※金曜の内科は11:30まで 午後診 13:30～15:30	午前診 9:00～ 午後診 14:00～	土曜日・日曜日・ 祝日・年末年始

診療科・曜日	月	火	水	木	金
内科	○	○	○	○	○
整形外科	-	○	-	-	○
小児科(心臓病)	-	-	-	-	○※

※小児科(心臓病)の午後診療は
毎月第4金曜日のみです(予約制)

水口医療センター
☎62-3346 ☎62-3347

市史の小徑 50 甲賀衆が持った二つの苗字

中世甲賀の侍たちは、土豪・地侍などと呼ばれるように、甲賀の地にしっかりと根を下ろし、館や城を構え、村や郷を治めるいわば「村の殿様」としての性格を強く持っていました。その特色は一族が共に手を携えて、地域社会の維持に力を尽くしたところにあります。

彼らは外に向かつては山中や大原、佐治や望月などの一族の名を用い、したが、身内ではそれぞれ独自の苗字を持ちそれを名乗る場合も少なくなくなりました。たとえば山中福西・美濃部富川・大原勝井・上野富田などであり、二つめの名がのちに苗字となり、現在も使われているものもみられます。甲賀出身で織田信長の家臣として活躍した滝川一益の場合、「滝川」は二つ目の名であり、甲賀に戻った時や、甲賀衆に対して出す文書には、「大原滝川一益」と署名しています。甲賀衆がこのような二つの苗字を

使ったのは、よく知られているように、惣領家(本家)が庶子家(分家)を圧倒するのではなく、同じ苗字を持つ一族(同族)が手を携えて地域社会を支配するという、「同名中」と呼ばれる結束のありかたを反映したものと考えられます。戦国時代の甲賀社会は、この「同名中」を基礎に、さらに「郡中惣」へと展開しますが、このような同族の結束は侍たちの歴史のなかだけでなく、冠婚葬祭などのつきあいのなかで、今日でも広く見られる「株」に通じるものがあります。つまり、このような同族結合の強さは、時代を超え甲賀社会の特色の一つとなっているといえます。

◎『甲賀市史』好評販売中

【販売場所】(水口町)ブックショップ ヤマカワ・ブックストア・山田書店・TSUTAYAさんぽう(水口)歴史民俗資料館(土山町)ウエノ・道の駅(土山)新名神土山サービスエリア案内所・土山歴史民俗資料館(甲賀町)かふか生涯学習館(甲南町)ウイング甲南店・市史編さん室(信楽町)大宝堂川書店・信楽伝統産業会館・信楽中央公民館

問い合わせ
歴史文化財課 市史編さん室
☎86-8075 ☎86-8216

*詳しくは「甲賀市ホームページ」→トップの「甲賀市史」のバナーからご覧いただけます



甲賀社会のルーツが

『甲賀市史』第2巻

「甲賀衆の中世」

10月12日より予約受付開始 (来年2月刊行予定)

『甲賀市史』第2巻「甲賀衆の中世」を来年2月に刊行するのに先立ち、今月12日から予約を開始します。今回は予約方法と、予定されている内容の一部を紹介いたします。

《起の巻》
武士の登場

甲賀の地に源氏や平氏を名乗る「武士」が力を付けてきた平安時代の末から鎌倉時代のような姿を描きます。甲賀の武士のさきがけともいえる甲賀公是茂をはじめ、平家打倒をめざして立ち上がった柏木義兼・山本義経兄弟の活躍、彼らが拠点とした甲賀谷の変遷や、交通の要路を擁する荘園の成立と展開を紹介いたします。

《承の巻》
甲賀衆の成長

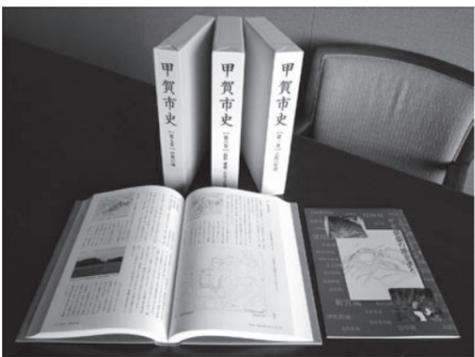
南北朝時代から室町時代の甲賀を、膨大な古文書が今に伝わる山中氏をはじめとして、この地に住まう侍たちがどう力を蓄え、「甲賀衆」として成長したかを描きます。また、応仁の乱をはじめとした混乱の世情のなかで、信楽荘を持った近衛家などの中央貴族が荘園経営に腐心しつつ郷民たちと交流するようすを描きます。

《転の巻》
甲賀衆の結束

戦国時代の甲賀を将軍や近江守護の六角氏、さらには織田信長などの諸勢力と甲賀衆との関係を通して描きます。「同名中」や「郡中惣」といった特徴的な自治組織の形成・発展を軸に、長享の六角征伐、足利義政を助けた和田惟政、織田家の臣として活躍した滝川一益、信長に動員された甲賀衆の動向や、「神君伊賀越え」についても紹介します。

《結の巻》
祈り・美・芸能

中世甲賀の多彩な文化をテーマごとに紹介。飯道山の修験道。甲賀衆の結束を支えた聖徳太子信仰。雨乞いなどの在地の人々の信仰世界、祈りの対象となった仏像をはじめ、芸能や文芸の世界はもとより、「六古窯」の一つに数えられる信楽焼の成立もここで紹介します。



【既刊のご案内】
第1巻「古代の甲賀」
紫香楽宮を中心に古代の甲賀の姿が見えてくる
第6巻「民俗・建築・石造文化財」
祈りと暮らしの推移、郷土の誇り豊かな文化財
第7巻「甲賀の城」
甲賀戦国の城を網羅、全国城郭ファン絶賛の1冊

- 本の体裁/B5判・上製本・箱入り・本文約500ページ・写真多数・カラーブックレット同梱
- 販売価格/1冊 3,500円 予約価格 1冊 3,400円
- 予約期間/10月12日(水)～平成24年1月31日(火)
- 申込方法/市史編さん室へ直接または電話・Fax・Eメールでお申し込みください。水口歴史民俗資料館・土山歴史民俗資料館・かふか生涯学習館・信楽中央公民館の各窓口でもお申し込みいただけます(休館日にご注意ください)。
- *全巻予約済みの方は今回の予約は不要です。

申し込み・問い合わせ
歴史文化財課 市史編さん室(甲賀市役所甲南庁舎3階)
☎86-8075 ☎86-8216
✉koka616000@city.koka.lg.jp

*市史の詳細は市ホームページトップの「甲賀市史」のバナーからご覧いただけます